

会派視察・研修報告書

会派名 公 明 党

代表者名 寺島 芳枝

1 日 に ち	令和元年 7 月 4 日 (水)
2 視 察 先 研修名、主催者及び会場	愛知県東海市役所
3 参 加 者	寺島 芳枝 渡部 昇 片山 竜美
4 調査・研修の テーマ	「防災ラジオ」について
5 主な内容	<主な質問内容> ・ラジオの普及率、普及世帯 ・ラジオの価格、制作会社、国や県からの補助 ・ラジオの性能（試聴局、電源、ライトなど） ・防災以外の目的で使用されているか ・住民の反応 ・導入する際の留意点や今後の課題
6 所感、提言事項、課題等	【議員氏名】 寺島 芳枝 <所感>昨今における集中豪雨、地震など緊急時における防災ラジオの必要性を強く感じていた中、面積や不交付団体である事などの違いはあるものの、人口規模が同等な東海市が平成20年から防災ラジオを導入されているとの事で、経緯等も興味津々で勉強させて頂いた。現在 5 期目の鈴木市長の自助の為にやれることは全てやろうとの思いの中で、FM 局の開局と共に取り組んできた。 普段は普通のラジオとして活用し、緊急時には、大音量で緊急放送となる。(J アラートとも連携) 目的は市民の命を守る事、防災ラジオはその手段の一つ。というだけあって、メルマガや防災スピーカー(海岸線のみ)、耐震診断、耐震化の補助は勿論、シェルターへの補助(部屋とベッドのみもあり)制度も設けており、市役所のロビーに展示され、その本気度が伺える。これ、ではなく、あれもこれも、市民の選択肢を増やす努力を惜しまない姿勢を学ばせて頂いた。

	【議員氏名】 渡部 昇 【所感】 ・ 防災ラジオ普及率は 14.79% 7,482 台 毎年現在約 270 台の伸びで進めている。目標は 30.0% 計画的で非常に良い。 ・ 導入時にはいろいろトラブルがあり大変であったが、全て解消し順調に進んでいるとのことで参考になりました。 ・ 防災ラジオは高齢者にとって非常に役立つ、緊急放送は常に 30W の音量で流れすぐ分かるので防災の連絡には最高である。 ・ FMPiPi がある多治見市では取り入れが必要と思った。 ・ 若い人はスマホ等で情報は入るが、高齢者は防災ラジオで安心。 【課題】 ・ ラジオ制作会社を見つけて進めることが重要な課題 ・ どのようにして、東海市の様に 2,000 円/1 台で作成出来るか。 ・ 防災ラジオが重要であることを市民にどのようにして PR できるのか。
6 所感、提言事項、課題等	【議員氏名】 片山 竜美 <所感> ・ 防災ラジオの使い勝手はよく、高齢者の方でも操作が簡単である。 ・ 日常は電池を入れた状態で、アダプターで接続し、停電などの非常時に乾電池を使って動かすことができる。持ち運ぶ手軽さやテレビが見ることができないときに重要な役割を果たす。また、電池の消耗も抑えられる。非常に使いやすいと思った。 ・ 非常用の LED ライトもついており、非常時に役立ち便利である。 ・ 高齢者にとってこういった使いやすく、聴きやすいラジオが、防災時に必要であると感じた。 <提言> *FMPiPi が存在する多治見市でも活用すべきである。それが、とくに高齢者の命を守ることになる。 <課題> ●ラジオ制作会社があるかどうか。 ●東海市は、国や県からの補助をえて、2000 円で販売したが、その価格で多治見市もできるかどうか。
7 写 真 等 ※視察の場合は必須、研修の場合は任意	